

## △ルネスタ錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】 エソゾピクロン Eszopiclone 【分類】 睡眠導入剤 [非 BZ 系・超短時間型]

【単位】 △1mg・▼2mg・▼3mg/錠

【常用量】 1回 2mg [最大 3mg] 高齢者には 1回 1mg [最大 2mg] ■翌日への効果の持ち越しがあり、1mg から開始した方がよい (FDA 2014)

【用法】 1日 1回寝る前

【透析患者への投与方法】 1mg, 最大 2mg (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 1mg から開始, 最大 2mg (1) 腎機能低下による Cmax, AUC 上昇, t1/2 延長が認められている (1)

【特徴】 非ベンゾジアゼピン系の GABA-A 受容体作動薬。ゾピクロン (アモバン) の S 体。

【主な副作用・毒性】 ショック, 依存性, 呼吸抑制, 肝障害, 精神症状, 一過性前向き健忘, もうろう状態, 頭痛, 過敏症, 消化器症状など。最も多い副作用は口の苦み (Wu F, et al: Arzneimittelforschung 62: 561-5, 2012)

【吸収】 食後服用で吸収率低下の可能性 (1)

【F】 資料なし (1)

【tmax】 1~1.5hr (1)

【代謝】 肝で CYP3A4, 2E1 によりゾピクロン N-オキシド, N-脱メチルエソゾピクロンに代謝 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 5.5~10.7% [高齢者] (1) 尿中回収率 74.8% [po, 120hr まで] (1)

【CL】 13.86±2.77L/hr [po] (1) 腎 CL=0.61~1.10L/hr (1)

【t1/2】 4~5hr (1) 通常 6.1hr だが, 高齢者や肝障害患者, CYP3A4 阻害剤併用で延長 (Greenblatt DJ and Zammit GK: Expert Opin Drug Metab Toxicol 8: 1609-18, 2012 PMID: 23126273)

【蛋白結合率】 52.2~58.9% (1)

【Vd/F】 108.17±15.14L/man (1)

【MW】 388.81

【透析性】 資料なし (1)

【薬物動態】 線形動態 (Wu F, et al: Arzneimittelforschung 62: 561-5, 2012 PMID: 23038043)

【O/W 係数】 1.38 [1-オクタノール水系, pH7.4] (1)

【相互作用】 筋弛緩薬, 中枢神経抑制剤と併用注意 (1) CYP3A4 の誘導剤, 阻害剤と併用注意 (1)

【禁忌】 重症筋無力症, 急性狭隅角緑内障の患者には禁忌 (1) 苦味はゾピクロンより軽度 (宇田篤史, 他: 日病薬誌 52: 529-32, 2016)

【更新日】 20211116

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。